

1 研究主題

豊かな心をはぐくみ、道徳的実践力を育てる道徳の時間の指導

2 研究の概要

- ・新学習指導要領が示す道徳教育の目標は、教育活動全体を通じて道徳性を養うことである。そこで、本研究部はこの目標を踏まえ、平成25年度の研究主題を『豊かな心をはぐくみ、道徳的実践力を育てる道徳の時間の指導』と定め、研究に取り組むことにした。
- ・研究主題をもとに、研究部員が個々に各学校及び児童・生徒の実態に合わせて研究、研修、実践を重ね、その成果をまとめる。

3 研究の実際

(1) 道徳教育研修講座

期日 平成25年7月12日

場所 柏崎市民プラザ

講師 上越教育大学 教授 林 泰成様

内容 「道徳の教科化」の検討が始められていること、自己の振り返りを行うことで価値の一般化へとつなげていくことが大切と述べ、モラルスキルトレーニングの授業について、分かりやすくご教示いただいた。



(2) 教育課程伝達講習会

期日 平成25年8月21日

場所 柏崎市立教育センター

内容 道徳部部員が講師となり、「新学習指導要領の着実な実施と適切な学習評価」の伝達と「学習指導要領の趣旨を生かした取組例」の説明があった。その後グループ協議を行い、自校の道徳教育の実践について成果や課題について話し合い、各校の実践事例に学ぶ機会となった。

(3) 実践集録の作成

道徳教育部の研修のまとめとして、部員一人一人が取り組んだ道徳教育の授業実践を執筆し、実践集録として刊行する。全部員の原稿集約を1月に行い、2月末頃に発刊する。

4 成果と課題

各学校では、研究主題の達成に向け、道徳の時間を「道徳教育の要として学校の教育活動全体を通じて行うもの」と捉え実践してきた。

本年度は、道徳の時間を魅力あるものにするために、上越教育大学 林 泰成教授を講師として、研修講座を開催して「授業づくり」の基礎から学ぶ機会を設定した。

研究の成果として、各部員は道徳の時間を公開し合いながら、指導力向上に努めている。また、授業公開後に教職員、保護者、地域一般が一同に介し、意見交換の場を設定し、ともに歩む道徳教育の実践している学校もある。さらに、全部員が研究の取組を紹介する実践集録を作成して成果の共有しながらその活用を図っている。単発の道徳授業だけでなく、全教育活動と道徳の時間を深く関連させることが課題と考えている。